

生徒搜索訓練実施計画

生徒指導部

1 ねらい

- （１）生徒の所在不明などに対して、適切な対応の方法を確認する。
- （２）状況に応じて搜索体制を確立し、指示系統の確認を行う。

2 日時 令和7年4月7日（月） 15：25～

3 場所 本校体育館

4 搜索手順（体制）について

- （１）搜索対象生徒役 ？ 先生（木工科3年所属） 当日発表
発見者（授業者） 宮 下 先生（木工科3年担任）
- （２）本部長 校長（教頭）
- （３）本部（職員室） 教頭、生徒指導主事、学年主任、該当HR担任または副担任
- （４）搜索
第2段階まで実施（第2段階までに発見してください。）

5 搜索の仕方（裏面参照）

- <第一段階①> 口頭説明
- <第一段階①> 口頭説明
- <第二段階> 搜索実施

「校地外（500m範囲）搜索とJR星置駅周辺」

※本部より各学年主任に搜索場所の地図を渡す。

※学年主任を中心に割り当てされた「**搜索場所**」を職員2人ずつのペアにより徒歩で搜索する。

※本部職員以外で搜索体制を組み、どちらかの連絡先を本部に伝え搜索を開始する。

※発見（確保）した際、職員は速やかに本部へ連絡をする。

※搜索職員は職員ネームプレートを持参してください（特にJR付近の搜索にあたられる方）。

なお、今回につきましては

※搜索対象生徒役の職員は、発見時に逃げ回って走る、捕まれた腕を振り払うなどの動きは取らないようお願いしています。

実際は、教職員の姿を見たら逃げ出す可能性があり、追いかける行為やすぐに指導をするなどを控え、周囲の状況、本人の様子にあわせ穏やかに対応するようお願いします。

確保が難しい場合は、見つけた段階で本部に連絡し状況を説明していただけると、本部から搜索者へ連絡し協力を依頼します。

生徒搜索訓練 当日の流れ(今回は第二段階まで)

生徒指導部

目安の時間	動き	備考
15:30	○体育館で全体説明（本校の搜索手順） 搜索生徒（今回は教員） ○消息不明となった生徒の発生（この時点で時刻確認）	PPで説明 準備する物 ・パソコン ・プロジェクター ・搜索地図 4部 ・ホワイトボード
15:45	↓ 〈第一段階①〉授業担当で校舎内（トイレや更衣室）を搜索	
16:00	○発見できない場合、 <u>学年主任・生徒指導主事へ報告→教頭へ報告</u> 〈第一段階②〉該当学年で「校舎内再搜索及び校地内搜索」を開始	・授業担当者及び数名で校内搜索 ・該当学年が手薄な場合職員室にいる職員に協力要請する
16:05	・教頭は校長、事務長へ報告 ・生徒指導主事は、第二段階の準備 ↓ ○発見できない場合、(放送により教頭が職員を招集することもある) 職員室（今回は体育館）に搜索本部を設置 ＜本部～教頭・生徒指導主事・学年主任・担任＞	
16:20	<u>搜索本部設置</u> 〈第二段階〉学校より半径 500m 範囲内＋JR 星置駅を搜索 ↓ ○生徒情報説明（担任・今回は生徒指導主事） ・生徒氏名 ・直近の状況 ・通学方法 ・服装、所持品 ・身体的・行動的特徴 ・配慮すべき事項 など ○状況説明（生徒指導主事） 現況及び今後の流れ説明 ○手順説明 ・掲示された地図の担当区域を搜索する。 ・2人1組（できるだけ男女）で構成する。 ・搜索区域の詳細な割り振りについては、各学年で行う。 ・搜索する職員は携帯電話と職員IDを携行する。 ・学年主任が搜索者の割り振りを確認し、本部へどちらかの電話番号を伝えてから搜索を行う。 搜索時の注意事項 ・交通安全には十分気をつける ・原則として生徒発見以外学校への電話連絡はしない。 ・途中で会った職員間で情報交換する。 ・生徒を発見した場合、すみやかに（本部）もしくは本部の携帯（教頭、生徒指導主事）連絡し、指示を受けて対応する。 ○発見後・生徒発見の連絡を受けたら、本部より搜索している職員へ連絡し、帰校もしくは生徒対応への協力の指示をする。	・場合によっては、本部より指示を受けた職員が先に校外搜索に出ることもある（今回は行いません） 生徒情報説明：HR担任 状況説明：生徒指導主事 手順説明：生徒指導主事 搜索区域の割り振り：学年（状況により本部で行うこともある）
16:45 予定	○帰校 ・発見者は、本部へ発見状況の詳細を報告する ・発見者は、生徒の安全を確保しながら、徒歩で帰校する。 ・他の職員は帰校し、戻ったことを本部へ報告する。 ○状況説明 ・生徒指導主事より、発見経過の説明	
16:50 予定	○訓練終了	